

目指す学校像	確かな学力と人間力を兼ね備え、渋沢栄一翁の教えに学び、地域へ貢献するとともに世界で活躍できる人材を育てる学校。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 自ら学ぶ姿勢を持ち、確かな学力とビジネスの実践力を持った生徒を育成する。 マナーと規律を守り、思いやりの心を持った生徒を育成する。 進路に対する高い志を持ち、その実現のために主体的に活動する生徒を育成する。 地域・保護者と連携をし、地域・保護者に信頼される学校を作る。
------	---

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	3名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	名

学校自己評価					令和3年度評価(2月7日現在)		
年度目標					令和3年度評価(2月7日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	現状 生徒の多くが授業に積極的に取り組んでおり授業内容を概ね理解している。保護者においては、資格取得を中心とした学力向上の本校への期待は高い。 課題 ・新型コロナに対応した学習保障(授業展開)対策の検討。 ・ICTを活用した授業の工夫。 ・令和4年度からの新教育課程への対応。	<ol style="list-style-type: none"> わかる授業の実現 検定合格者数の増加 新型コロナに対応した学習保障 	<ol style="list-style-type: none"> 「学ぶ力」を定着させる授業を展開し、ICTを活用した授業の工夫をして、「授業力」の向上を図る。 資格取得の奨励などにより学習の動機付けを行い、より高度な資格取得を目指す。 リモート授業や動画配信の実施 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒の授業の理解度や授業への取り組み(生徒アンケート)とICT授業の展開率 各種検定の取得状況(普通教科も含む) リモート授業や動画配信の取組状況 	<ol style="list-style-type: none"> 授業への参加態度については、95%の生徒が「取り組んでいる」と回答しており良好である。教員のICTの活用は、8割以上が活用している。 全商3種目以上1級取得者は127名であった。家庭学習は50%程度で、昨年度同様であった。 今年度は、外部の協力を得て進めようとしたが、活用まで至らなかった。 	b	・家庭学習では、1年生が66.4%2年生は49.9%、3年生は33.4%であるが、学年が進行するにつれて学習率が下がらないよう工夫する必要がある。 ・「Google Classroom」をできるところから、工夫して活用していく必要がある。
2	現状 自転車のマナーが悪く、地域から多くの苦情が寄せられた。登校時の自転車事故も多い状況である。今年から原付自転車による通学が認められる。スマートフォンの利用時間が、4時間以上が3割以上である。 課題 ・原付自転車による通学の環境整備。 ・スマートフォン等の活用及び環境整備の検討。	<ol style="list-style-type: none"> 主体的にモラル・マナーを守る態度を育成 原付自転車による通学できる環境の整備 ICT機器環境の整備 	<ol style="list-style-type: none"> 自転車等の交通マナーを講演会等や教育活動の全ての場面を通して指導をする。 該当する分掌を中心に、通学できる環境を整える。 該当する分掌と連携してICT機器の環境を整備する。 	<ol style="list-style-type: none"> 交通マナー等の状況把握(生徒アンケート)と地域住民からの苦情の数 原付自転車により通学できる環境の整備状況 ICT機器の環境整備状況 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒のアンケート結果では、99%の生徒が「交通ルールを守って登校することが出来ている」と回答している。 原付自転車の通学についての交通安全指導はできた。通学の申請は2名であった。 利用できる環境は整いつつあるが、タブレットの数が足りないのが現状である。 	b	・近隣の方から、自転車の交通マナーが良くないとの苦情は減少した。来年度は、自動車免許の取得手続きの変更があり、生徒に周知徹底する必要がある。 ・原付自転車専用の駐輪場の設置を図る必要がある。 ・将来的には教員・生徒1台、タブレット等が活用できるよう環境を整える必要がある。
3	現状 進路情報が保護者へ適切に周知されており、生徒の進路希望の満足度も高く、進路決定率もほぼ100%である。 課題 ・キャリアパスポートの作成のための環境整備。 ・校務支援システムへの完全移行の実施。	<ol style="list-style-type: none"> ガイダンスを通してキャリア教育の充実 手帳の活用方法 校務支援システムへの移行 	<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス等において外部講師を招いたキャリア教育を実践する。 3年生の活用事例を1・2年生に周知し、手帳の活用を促す。 校務支援システムへの移行への周知徹底 	<ol style="list-style-type: none"> キャリア教育に関連する講演会の実施状況 生徒アンケートにおける生徒進路手帳の活用状況 校務支援システムへの移行状況 	<ol style="list-style-type: none"> キャリア教育に関しては、進路指導部を中心に、今年もコロナ禍で講演会はできなかったが、進路ガイダンスをとおして、進めることができた。 3年生は、よく手帳を活用していた。 校務支援システムがスタートし2年目になり、大きな支障はなく移行することが出来た。 	a	・キャリアパスポートの作成のため、生徒進路手帳を1・2年生に活用方法を業者等と連携しながら、活用促進に努める必要がある。 ・来年度、校務支援システムによる観点別評価が加わり、教職員に周知する必要がある。
4	現状 地域や企業との良好な連携はできている。ホームページや広報誌を通し、中学生やその保護者は本校への関心が高い。また、入試に関しては、本年度の入学志願者が定員割れを起こしてしまった。 課題 ・来年度に入試に向けた、募集定員の確保。 ・「渋沢栄一翁」の功績を、地域と協力しながら、授業に活かした取組。 ・100周年記念式典の実施に向けた準備。	<ol style="list-style-type: none"> PTA活動の充実と効果的な情報発信 授業を通して地域との連携を図る。 100周年実施委員会を中心に事業に向けて準備する。 	<ol style="list-style-type: none"> 学校行事の保護者・地域への公開とHPの充実を図り、中学生やその保護者への積極的な情報発信に努める。 地域の企業と連携してイベントへの参加や効果的な授業の展開を行う。 委員会を中心にPTA・同窓会と連携しながら、100周年記念式典の企画・運営 	<ol style="list-style-type: none"> 情報発信状況び入試倍率 地域の企業との連携について生徒・職員が関わり授業展開の割合が増えたか。 100周年記念事業に向けた達成状況 	<ol style="list-style-type: none"> 今年度は、ホームページを通じてタイムリーな話題を提供することが出来た。入試倍率では、1月の調査で、3学科平均1.13倍であった。 コロナ禍で、地域の企業との連携は厳しかったが、大学・企業・自治体と連携しながら新商品の開発を進めることができた。 記念式典は、11月に予定通り実施され、無事終了した。 	a	・今年度も、コロナ禍でPTA活動が殆どできなかったが、来年度は、PTA行事ができるように準備を進める必要がある。 ・授業での地域の企業との連携は、引き続き継続することや深谷市教育委員会が中心となって行われている「ふかや渋沢学」の一層の充実を図り進めていく必要がある。 ・次の周年記念式典に向けて記録をまとめる必要がある。

学校関係者評価	
実施日	令和4年2月22日(書面開催)
学校関係者からの意見・要望・評価等	
○検定前に朝補習の時間を設けたり、課題を出したりすることで、生徒全員が検定勉強に取り組めるように指導しているところは良いと思う。 ○大学進学実績の向上を考えると、家庭学習の学年進行に応じて減少していることが気になる。生徒への意思付けが求められると思う。 ○動画配信は、一方的に配信していただけであったため、動画を見ない生徒もいて、一概に効果があったとは言えないと思う。 ○今後、国・県からGIGAスクール構想の推進が求められてくると思う。本校が、推進に当たっての本県のリーディングスクールとして範を示すことができるよう、早めにかつ積極的に検討を進められることを願う。整備された機器をどのように教育活動に活用していくか、事前の準備をしておく必要がある。	
○交通マナーに若干の課題があるだが、大きな生徒指導上の問題もなく学校生活が送られている様子が伺える。 ○髪や服装の指導ができていない。コロナ禍で学校行事の中止などコミュニケーションが不足し、ストレスの解消ができていない心配だが、温かく育てていただきたい。 ○交通ルールやマナーについて、近隣の方と生徒の認識がずれている。生徒が襟を正す方法を研究して欲しい。	
○校務支援システムや先生方の努力により進路決定率100%は素晴らしい。 ○進路指導が、俗に言う「出口指導」に陥らぬよう、より一層の「キャリア教育」計画とその推進を期待する。「講演会」の実施がキャリア教育ではなく、そのような行事を通して、生徒が、どのようなキャリア発達をしたか、ここがキャリア教育の成果の程度だと思う。	
○100周年記念事業が開催できて良かった。コロナ禍で工夫しながらの学校運営に感謝する。 ○企業や大学との連携を活発にし、早い段階で進路を考えさせる機会をつくってあげて欲しい。 ○資格取得にこだわりすぎている。学校外・地域との連携を増やし、生徒一人一人が「社会の一員」であり、多くの「経験」を増やすべきだ。 ○創立100周年記念式典の開催おめでとうございます。渋沢栄一翁の志を受け継ぐ御校のご発展をお祈り申し上げます。	